

保護者の皆様

旭川市立神楽小学校  
校長 武田 聡

## 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

初冬の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろから、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の結果につきまして、全国・全道平均と比較しながら、本校6年生全体の傾向を分析いたしましたので、お知らせいたします。中学校入学に向け、9月に配付した個票と併せて家庭学習の参考資料として活用いただければうれしく思います。

## 教科に関する調査・質問紙調査から見られる6年生の傾向と授業改善

## (1) 国語

<よくできていた問題>

- ①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題。
- ②学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。
- ③資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題。

<課題の見られた問題>

- ①文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題。
- ②目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題。
- ③物語の人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題。

<分析>

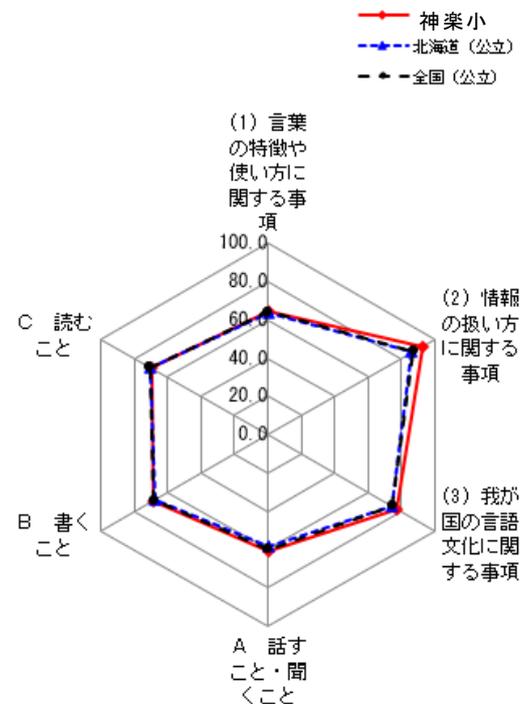
国語の平均正答率は、全国・全道平均を上回る結果となりました。

領域別に見ると、「我が国の言語文化に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」において、特によい結果となっています。他の領域についても、全国平均を大きく下回るものはなく、全体的に良好な結果となりました。

<改善>

落ち着いて問題文を読み、主語と述語の関係をしっかり捉えることを確認する。目的や意図に応じて話題を決めて伝え合う活動を取り入れる。物語の叙述から登場人物を具体的に想像しながら読む活動を取り入れる。

学習指導要領の領域の平均正答率の状況



## (2) 算数

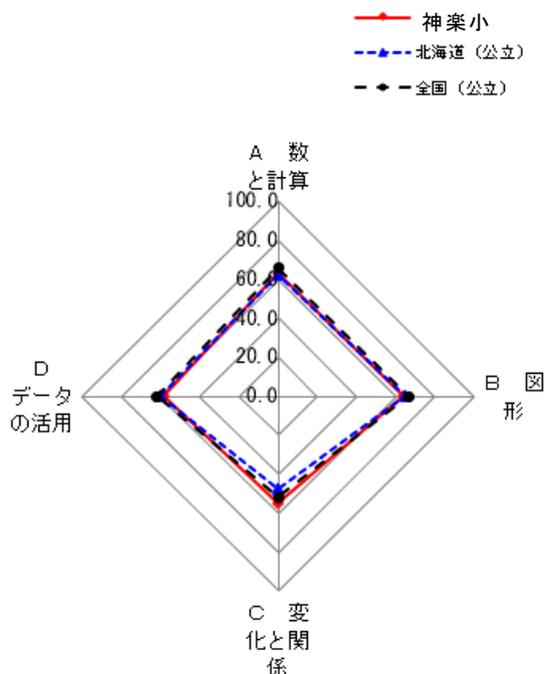
<よくできていた問題>

- ①数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる問題。
- ②速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる問題。
- ③速さの意味について理解しているかどうかをみる問題。

<課題の見られた問題>

- ①角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題。
- ②簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる問題。
- ③問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる問題。
- ④除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題。

学習指導要領の領域の平均正答率の状況



<分析>

算数の平均正答率は、全道平均は上回りましたが、全国平均には届きませんでした。

領域別で見ると、「変化と関係」で、全国平均よりも良い結果となりました。他の領域についても、全国平均を大きく下回るものはなく、概ね良好な結果とすることができます。

問題形式で見ると、記述式の問題において、全道平均よりも下回る結果となりました。

<改善>

問題場面をしっかりと把握し、自分の考えやその理由を、言葉と数、式で表現する活動を取り入れる。必要なデータを取り出し、分類整理する活動を取り入れる。小数、分数の計算の意味を確認するとともに、計算の習熟を図る。

### (3) 質問紙

<全道・全国と比べて肯定的な回答が多く、良好と思われる項目内容>

【生活習慣に関わること】

「同じ時刻に起きていますか」

「同じ時刻にねていますか」

【学習に関わること】

「これまでの学習の中で、ICT機器を活用することでどのような効果がありましたか」

「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」

「各教科で学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動を行いましたか」

「総合的な学習の時間で情報集め、整理し調べたことを発表する活動に取り組んでいますか」

「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」

「国語の勉強は好きですか」

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

「算数の勉強は大切だと思いますか」

「算数の授業の内容はよく分かりますか」

「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」

【自分や他者に関すること】

「自分にはよいところがあると思いますか」

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」

「将来の夢や希望をもっていますか」

「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか」

<全道・全国と比べて肯定的な回答が若干少なく、改善が必要と思われる項目内容>

【学習に関すること】

「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないことについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」

「算数の勉強は大切だと思いますか」

「英語の勉強は大切だと思いますか」

【生活習慣に関わること】

「新聞を読んでいますか」

【家庭では、引き続き望ましい環境づくりをお願いします】

児童質問紙の回答状況を見ますと、ほとんどの項目において、肯定的な回答をした児童の割合が全国・全道を上回る結果となりました。多くの児童が、前向きな気持ちで充実した生活を送っていることがわかります。これらの結果を踏まえ、残りの小学校生活を更に充実したものにするために、学校と家庭、そして地域と連携しながら教育活動を推進してまいります。

全国的に「基本的な生活習慣や家庭学習環境が身に付いている」「規則や決まりを守ろうとしている」「ものごとに前向きに取り組もうとする」「他の人々のことを考えようとする」児童ほど、学力が高いという傾向にあります。また、「読書意欲が高い」児童は読解力もよく伸びています。

よりよい生活習慣や家庭学習習慣を確実に身に付けるためには、次の点について、引き続き家庭でのご協力をお願いします。

- ・家庭学習、読書時間の確保
- ・ゲームやスマホ等利用のルールづくり